

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎海浜の経費

海浜保全事業

【 公園海浜課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 ・樹林地・河川・海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。

・安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【事業の内容】

(1) 海浜保全事業

- ・海浜利用のルール普及業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,028	1,028	873		155

主な支出内訳

・海浜保全事業

海のルールブック印刷製本費	315
既存車止め等維持修繕料	95
海岸の障害物処分等業務委託料	0
サーフ90ライフセービング事業等負担金	410

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ○海・浜パトロール連絡会議による、鎌倉海・浜のルールブックの周知・啓発を推進するために、関係諸機関や協力団体との連携強化に引き続き努める必要がある。 ○浜辺の侵食対策については、県及び相模湾沿岸市町と連携を図る必要がある。 ○深夜花火パトロールについては、公共の場所の管理者が行うこととなっているが、海岸管理者が県であることから、公園海浜課が対応しているため、業務量の増大が継続しての課題となっている。また、県迷惑防止条例の改正に伴い、警察とも連携して深夜花火防止対策を進めていく必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ○鎌倉海・浜のルールブックの周知及び啓発や関係諸機関との連携協力、パトロールを行った。 ○侵食対策については、神奈川県と相模湾沿岸13市町の首長等で構成される「なぎさづくり促進協議会」等において、国への要望を行うとともに引き続き検討を行った。 ○深夜花火パトロールについては、地元住民等と対応策についての協議を行い、関係諸機関の協力体制の充実を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ○本業務は庁内だけでなく、関係機関との調整が多いが、事務の範囲が明確になっていない部分がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ○従来の鎌倉海・浜のルールブックに加え、救助者からのサイン等、マリンスポーツにおける共通ルールの周知の必要があると思われる。 ○花火条例については、条例担当課での対応を図ってほしい。 ○深夜花火パトロールについては、迷惑防止条例の施行に伴って警察署を主体とした体制を整えることも必要と考える。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	C	改善の必要性 有
	鎌倉海・浜のルールブックの周知・啓発のための活動を行うとともに、海浜利用のルールが守られるように関係諸機関との協力体制を整備し、運用の定着を図る。				
担当課長氏名:		公園海浜課長代理 川名 達哉			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	C	改善の必要性 有
	本事業については、海・浜に関する団体や住民等との協働、関係機関等とも連携して事業を推進する。事務分掌の整理とともに機構改革において、より良い組織のあり方について検討する必要がある。				
担当部名	景観部	部長名	土屋 志郎		